

平成30年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市マリンハウス脇野沢	
指定管理者	団体名	脇野沢村漁業協同組合
	代表者	代表理事組合長 立石政男
	所在地	むつ市脇野沢本村無番地
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日（5年間）	
指定管理業務の概要	① 水産物及びその加工品の展示販売に関すること ② 水産業に対する理解促進に関すること ③ 施設の使用許可及び使用料の徴収に関すること ④ 施設の維持管理及び修繕に関すること	

2. 収支の状況

単位：千円

区分	計画額 ①	実績額 ②	増減 (②-①)
収入合計 (A)	2,760	2,579	△ 181
うち利用料収入	1,560	1,388	△ 172
うち指定管理料	0	0	0
支出合計 (B)	2,354	2,282	△ 72
うち人件費	460	434	△ 26
収支差 (A-B)	406	297	△ 109
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	特産品の焼き干しの不漁で品薄となり、売上が伸びず計画達成に至らなかった。		

3. 施設利用の状況

単位：人

利用者数	区分	計画 ①	実績②	増減 (②-①)
	有・無料利用者	3,001	3,004	3
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施 (有・ <u>無</u>)				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C:改善要）

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
① 開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
② 施設の使用許可、使用減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③ 利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④ 利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
① 施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
② 潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③ 自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
① 施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
② 収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③ 職員の資質・能力の向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
① 施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	A	B
② 設備・備品の維持管理及び修繕が適正に行われたか。	B	B
③ 労働関係法令等を遵守し、適正に管理を行ったか。	B	B
④ 利用料金の收受及び施設管理経費の支出は適正であったか	A	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
① 利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
② 日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	A	B
③ 防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④ 利用者の個人情報保護は徹底されたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 注自己評価をCとした項目についての改善策も記載すること

前期評価と同様に、朝市等のイベントは積極的に行っているが、市及び村おこし会議と合同での開催であり、フロアーが若干狭い等の施設状況から自主事業開催に至っていないため、周辺の舗装及び水回り等の改修が今後の課題となった。

7. 市の所管課総合評価 注市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること

経費節減に努め、施設外のイベントでの販売も行うなどの営業努力をしており、適正に管理運営が行われていると考える。特産品の不漁により、収入目標には届かなかったが、利用者数は計画・昨年度実績を上回っており、店内に入りやすい雰囲気作りの努力が見取れる。自主事業の未実施については、施設の改善要望にほとんど応えられていない市側にも責があるため、やむを得ないと感じている。